



FirmwareUp によるファームウェアの更新

このトピックでは、[ブート (Boot)] メニューで使用可能な [FirmwareUp] オプションを使用してファームウェアを更新する方法について説明します。

- [ファームウェアの更新について \(1 ページ\)](#)
- [ファームウェアの更新手順 \(1 ページ\)](#)

ファームウェアの更新について

ファームウェアの更新は、Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスの最適なパフォーマンス、セキュリティ、および互換性を維持するために不可欠です。これらのアップデートでは、デバイスがベスト状態で動作するように、新機能、バグ修正、およびセキュリティ強化を導入することがよくあります。

ファームウェアの更新手順

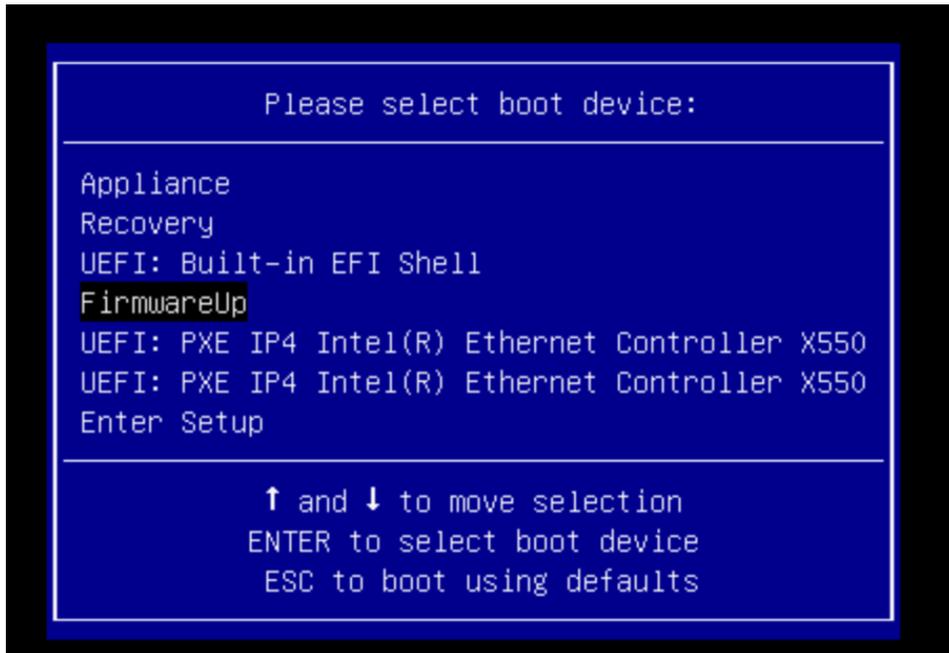
始める前に

Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスのバージョンが 2.19.4 以降であることを確認します。

手順

- ステップ 1** Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスの電源を投入またはリブートします。リブートするには、[操作 (Operations)] タブをクリックし、[電源 (Power)] を選択して、[リブート (Reboot)] ボタンをクリックします。アプライアンスが再起動し、[BIOS] ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** ブートプロセス中に **F6** を繰り返し押して、UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) ブートメニューを表示します。
- ステップ 3** 矢印キーを使用して [FirmwareUp] オプションに移動し、**Enter** キーを押します。

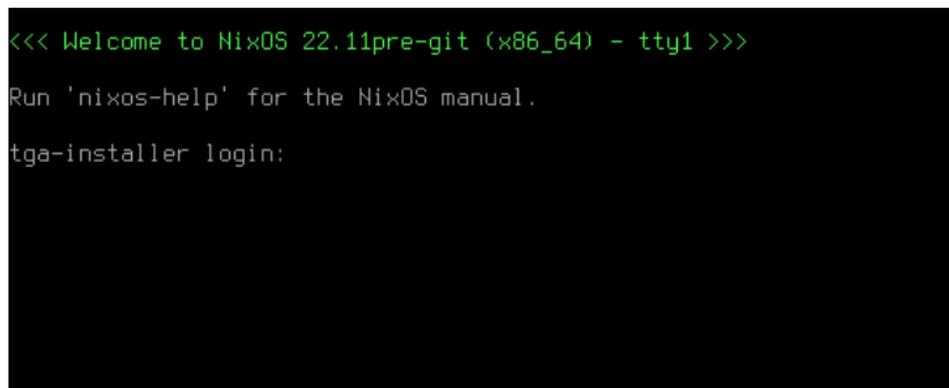
図 1: FirmwareUp



更新プロセスが自動的に開始されます。

(注)

次のログイン画面が表示された場合は、無視しても問題なく、更新プロセスが続行されます。



ファームウェアの更新が完了すると、アプライアンスがリブートします。その後、アプライアンスの通常のソフトウェアが通常どおりにロードされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。